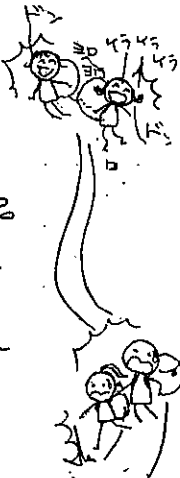


〜 キャンプ特集 〜

7月18日〜20日 (月)



キャンプまでの こどもの準備は、着(?!?)と進み、大人達の方も、食料係、お母さん達の物品係、お父さん達の牛乳品係も休みに準備日を設けたり、買い出したり、メルのやりとりと、本当にご苦労様でした。

小島実行委員長の「行ったら、行ったで、何とかなるよ。」と頼もしい言葉に、みんなも安心して、一番心配していた天気も良く、子ども達が最大級楽しみにしていた川遊びも3日間できて、本当に楽しいキャンプでした。

終わって一週間経ちましたが、キャンプの色んな顔を思い出して綴ってみました。

におろしだ



あの重〜いリュックを背負っての山道くだり。1.2年生は、片手に、じゃがいもやらニンジンやらの食料を持ち、3年生以上は片手に食料片手に物品。なんとエライ!!

学年があがるにつれ、重い物を持って、それでも、下の学年に声をかけて、歩いているのには、ささのはのキャンプのつみ重ねを感じました。

1年生は...大きな荷物に、細い坂道も見て「エ〜!ここ下りていくの! オレ転がっちゃう」「ゆ〜り行け。」「足のやぶるんば」と太夫だからと教えられ、歩き始めたら、「とまらない〜」と半分走り、「だめだめ」と判し、

途中「ああ〜重い」とすわって、「がんばれ!」と励まされて、立って歩き始めたら、「えらいぞ!」とほめられ、ほめられたらうれしくなると、か、「オレ全然平気、軽いし、〜」と言、元気表示するように、又もや走り出し「おいおいおい〜」そんな1年生を(固)と一緒に声をかけてくられて、無事、キャンプ場到着でした。他の1年生も一緒に歩いてくたお母さんに聞くと、フワフワとしていた歩き始めで、大丈夫と心配だったけど、山道に慣れ始めたら、自分で足もとに気をつけて歩いていたよ、と言っていました。

山くだり、

自分の体からはみ出している大きなリュックを持った1年生、みんなが、とても気にかけていたおです。すぐ前に居て、「ここに根こがあるよ」「ここはかぶるよ」と声をかけていた4年生、中学生のお姉さん達も「私、ここに居ればいいね」と1年と2年の間に居ていたり、上からも下からも「頑張れよ〜」という声が響き合っていました。

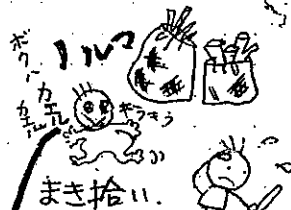
1年生はヨロヨロしながらも「頑張るよ〜」とトットトと歩き、勢い余って止まらなくなて、「おと〜と音いながら」「アツアツ」と笑う余裕まであり、お母さんのみんなも思わすもらい笑い、それに比べて、2年生のたくましく見えたこと言たら...1年間に大きくなるって大変なことなんだよね。

行ってきま〜す!



毎年1年生のお家の人には、こどもの身体と同じ大きさのリュックを背負って行くなんて、家の子はどうなってしまうんだろうと、おどろおどろしい思いでいたと思います。でも、子ども達は、ルンルンハイテンション! バスも到着し、荷物も積みこみさあ出発。ちびといたハロウィングもありましたが、無事、高速へ突入。

往きのバスの中は、ウキウキ気分では、いはい、いつになく真剣に、話を聞き、キャンプの歌ですかり盛り上がり、「ア、丹沢の山が見えて来たよ、」「ワ〜!」「ホウ、この川の上流がキャンプ場だよ、に「スゴ〜イ!!」の声、みんなの気持ち、ひとつになったような、とても、とても楽しい気持ち、いっぱい、のバスの中でした。



ジメ〜とした林の中でのまき拾いは、1年生にとっては初体験、アツアツで拾った小枝とは、勝負が違っていたようで、「どれ拾うの?」地面を見ていると見つけたカエル、「ワッ、カエルが、いはい!」2匹もつかまえて、まきどころではなく

なてしまいました(固)「ほら、預るからまき捜せよ!」「絶対に逃がさないでよ!」大丈夫、ほらこの軍手に入れておくから、後で大変だったんです。細い軍手の指の中にもぐり込んだ、カエルの引きっぱりだすのか!!!

